

公開実用 昭和61-66501

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-66501

⑬ Int.Cl.<sup>4</sup>  
A 43 B 7/14  
13/28

⑭ 識別記号  
⑮ 庁内整理番号  
6561-4F  
6617-4F

⑯ 公開 昭和61年(1986)5月7日

審査請求 未請求 (全頁)

⑰ 考案の名称 オール指室付シューズ

⑱ 実 願 昭59-151454

⑲ 出 願 昭59(1984)10月5日

⑳ 考 案 者 後 藤 英 次 郎 姫路市土山7丁目6-28

㉑ 出 願 人 後 藤 英 次 郎 姫路市土山7丁目6-28

## 明 細 書

1. 考案の名称 オール指室付シューズ

2. 実用新案登録請求の範囲

(1). シューズの前方内部に、すべての指間に入る4カ所の仕切板を付けるカ所の指室を、左右それぞれのシューズに設け、くるぶし前方から親指付根迄ファスナーを付け、シューズ上蓋部を片方に大きく開閉して、履脱出来るシューズ。

(2). 皮革、合成皮革、ウレタン、天然せんい、合成せんい、等の原料で作られたもの。

3. 考案の詳細な説明

本案のシューズは着用時に全ての指間に、下駄ぞうりで言えば鼻緒にあたる仕切板が付いて居る。第1図(1)は親指、(2)は2指と3指の間、(3)は3指と4指の間、(4)は小指にはまる様になり、それぞれの足指が5カ所の指室に別個に入る様になって居る。(5)はファスナーの引止の金具で有り(6)のくるぶし前部より親指付根迄の間に取付けられたファスナーの開閉の役をなし、(7)の上蓋部分を片方に大きく開き上部より足をのせる様に入れるだけ

で楽々と着用できファスナー引止金具の操作のみで着脱は容易である。(8)は通気性をよくするためあけられた多数の小孔で有る。

従来のシューズは指先や指間がせまく、きゅうくつなため指先の痛みや指むれになやまされ、又着脱もさほど容易でない欠点があった。指股むれになやむ社会人や学生の方々も多く、この人々の足部の健康保持向上に非常に役立つもので有る。仕切板の用もなす部分は指間のすきまをつくり、着用時のまさつ当でその部分のひふの強化に役立つ、通気性も(8)の小孔と相まって非常な効果があるもので有る。本案のシューズをジョギングや山野の歩行、通勤通学に使用すれば足部の健康保持向上に貢献する事大なるものが有り、又今後のデザイン向上に役立つ意義深い興味あるシューズで有る。

#### 4. 図面の簡単な説明

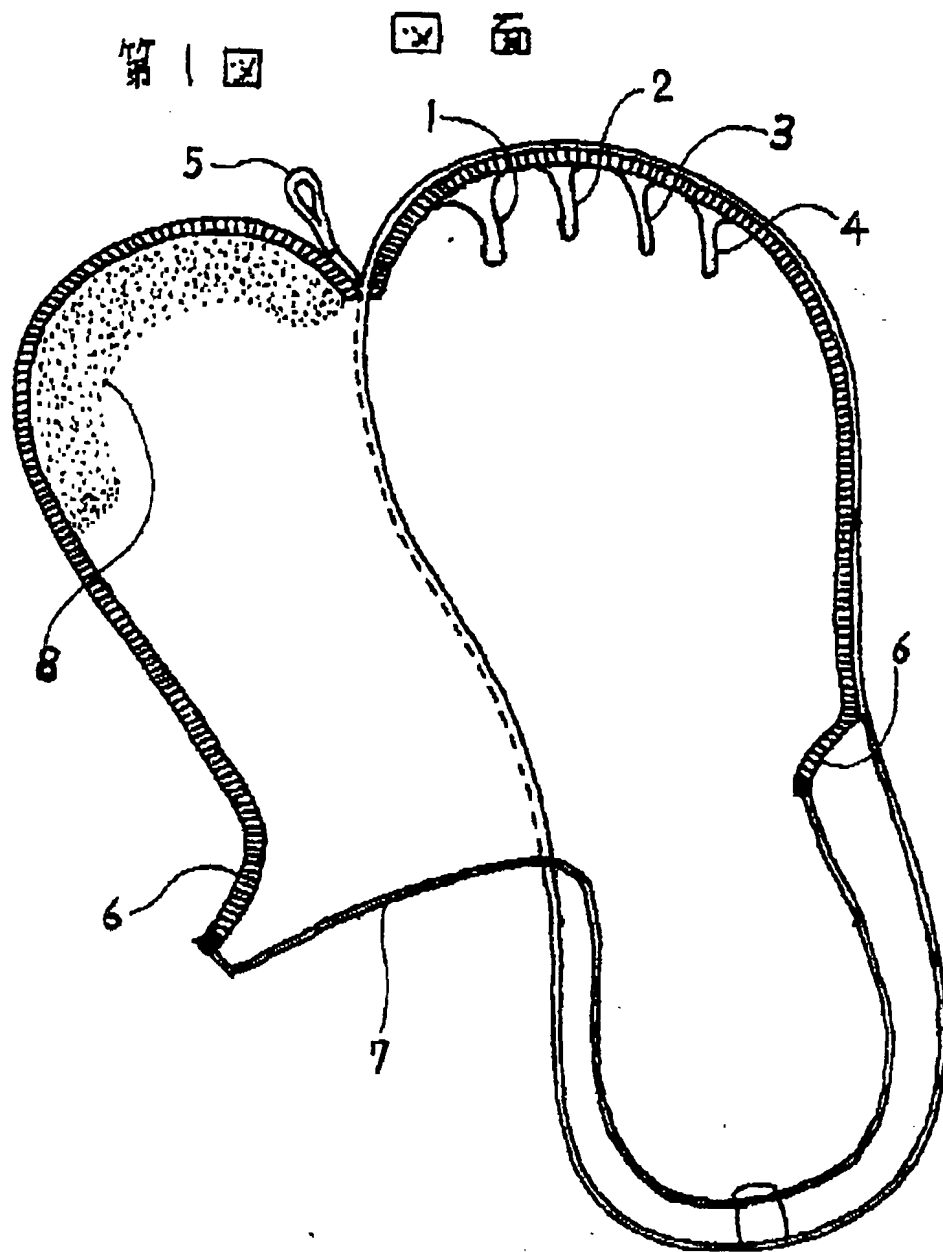
第1図は平面図で有る。

(1)、(2)、(8)、(4)は指間にはいる仕切板、(5)はファスナー止引金具、(6)はファスナー、(7)は上蓋部、

(8)は通気用小孔群。

賽用新案登録出願人 後藤英次郎





実用新案登録出願人 後藤 英次郎